

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公開番号】特開2009-183715(P2009-183715A)

【公開日】平成21年8月20日(2009.8.20)

【年通号数】公開・登録公報2009-033

【出願番号】特願2009-25617(P2009-25617)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/026 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/02 3 4 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 8】

前記センサ装置が圧力センサ装置を含み、前記血液変数が動脈圧であり、任意時間にわたる前記変数を示す前記曲線が時間 $t$ にわたる圧力曲線 $P(t)$ であり、前記平均値が平均的な動脈圧である請求項1から17までのいずれか1項に記載の装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 0】

患者の少なくとも1つの生理学的パラメータを求めるために、コンピュータシステムに、

患者の血液変数の測定値を取り込む手順と、

前記測定値を時間 $t$ にわたる前記血液変数を示す曲線として記憶する手順と、

前記曲線から平均値を求め、該平均値を使用して前記少なくとも1つの生理学的パラメータを求める手順と、

前記曲線のスペクトル密度 $S(\omega)$ および前記変数の変化のうちの少なくとも1つを求める手順と、

前記平均値、ならびに、前記スペクトル密度 $S(\omega)$ および前記変化のうちの少なくとも1つを使用して、心拍の有効振幅 $A_{eff}$ 、前記心拍の有効持続期間 $d_{eff}$ および前記心拍下での有効面積 $F_{eff}$ から選択された値である前記心拍の有効値を示す少なくとも1つのモデルパラメータを求める手順と、

少なくとも1つの前記モデルパラメータを使用して前記少なくとも1つの生理学的パラメータを求める手順と、

を実行させるためのプログラムを記憶した記憶媒体。